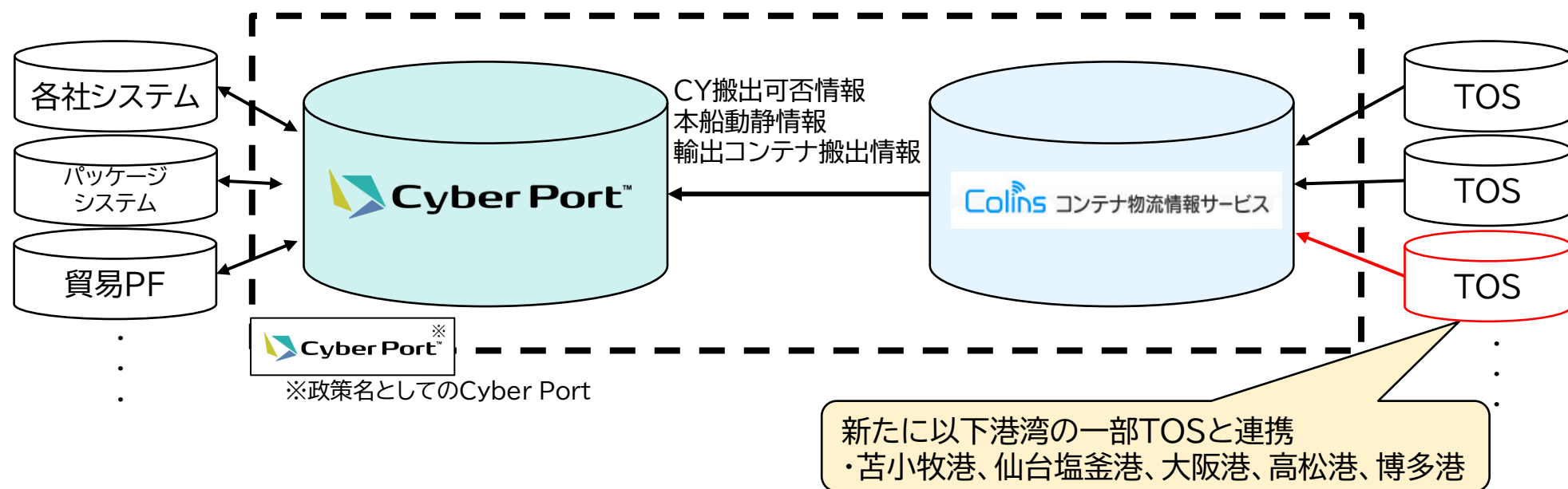


Cyber Port(Colins含む)の利用拡大に向けた取組の一環として、Colinsの連携ターミナルを拡大しました。



効果

新たに連携したターミナルにおけるCY搬出可否情報、本船動静情報、輸出コンテナ情報がColinsに連携され、Cyber Port及びColins上で当該情報を確認・活用することが可能。

赤字:新たに連携を開始したターミナル

港湾	ターミナル
苫小牧	東港区中央埠頭 2・3号 (苫小牧国際コンテナターミナル)
仙台塩釜	高砂1・2・3号 (三陸運輸/NX仙台塩竈港運)
東京	東京港中防外Y1 (上組)
	東京港中防外Y2 (三井・日通・住友・山九)
	大井1・2号 (ダイトー)
	大井3・4号 (TICT)
	大井5号 (東海運)
	大井6・7号 (日本郵船)
	青海A0-2 (公共5社)
	青海A4 (鈴江)
	品川SC (第一港運)
	品川SD (住友倉庫)
	品川SE (東海運)
川崎	1号 (東洋埠頭)
横浜	本牧D-4 (APL)
	本牧D1 (日通・上組)
	南本牧MC-1・2・3・4 (三菱倉庫)
	大黒T-9 (三井倉庫)
	本牧BC (YPM)
新潟	東港区西 (N-WTT)
伏木富山	新湊地区北1号 (伏木富山港湾運送事業協同組合)

港湾	ターミナル
大阪	南港C-1・2・3・4 (辰巳商会)
	南港C-2 (商船港運)
	南港C-8 (上組)
	南港C-8 (日東物流)
	南港C-9 (三菱倉庫)
	夢洲C-10・11・12 (DICT)
	夢洲C-11 (辰巳商会)
神戸	PC-15・16・17 (商船港運)
	PC-18 (上組)
	RC-2 (三井倉庫)
	RC-4・5 (三菱倉庫)
	RC-4・5 (日東物流)
	RC-6・7 (日本郵船)
四日市	霞ヶ浦南W26-27 (YCT)
	霞ヶ浦北W80 (YCT)
高松	F地区-10m (高松商運/日本通運<四国支店>)
博多	香椎パークポート-13m (博多港ふ頭)
	IC-6、7・8 (博多港ふ頭)

<戦略港湾での未参加ターミナル>
・大阪
南港C9 (三井倉庫港運)
・神戸
PC-13 (日新)

【参考】Cyber Port-Colins連携機能について

- コンテナ物流情報サービス(Colins)は、ターミナルオペレーター、荷主、海貨事業者、運送事業者等の関係事業者間で、一元的にコンテナ物流情報を共有するための会員登録制のウェブサイト型の情報システム。
- 国土交通省港湾局が2010年4月からサービスの運用を開始。
- 全国の主要な港湾に係る必要な情報を多様な関係者が一元的・リアルタイムに共有することにより、情報が可視化され物流業務の効率化、高度化に資する。
- URL: <https://www.colins.ne.jp> (Colins: Container Logistics Information Service)

○混雑状況カメラ画像

港頭地区に設置したウェブカメラ画像をリアルタイムに提供。

○ゲートオープン時間情報

ターミナルオープン時間などの各ターミナルのお知らせ掲示板。



○搬出可否情報

各ターミナルのシステムから提供される輸入コンテナ搬出可否情報を表示。

○船舶動静情報

各ターミナル、港湾管理者、AISから提供される船舶動静情報を表示。

■情報を一元的に共有することによる物流業務の円滑化

輸入コンテナの搬出可否情報、船舶動静情報等、これまで各港や関係者毎に分散していた情報を集約し、関係事業者の情報共有が容易になることから、情報伝達上のトラブルが減少し、コンテナ物流のスムーズな流れを実現することが可能となる。

■業務の負担を大幅に軽減

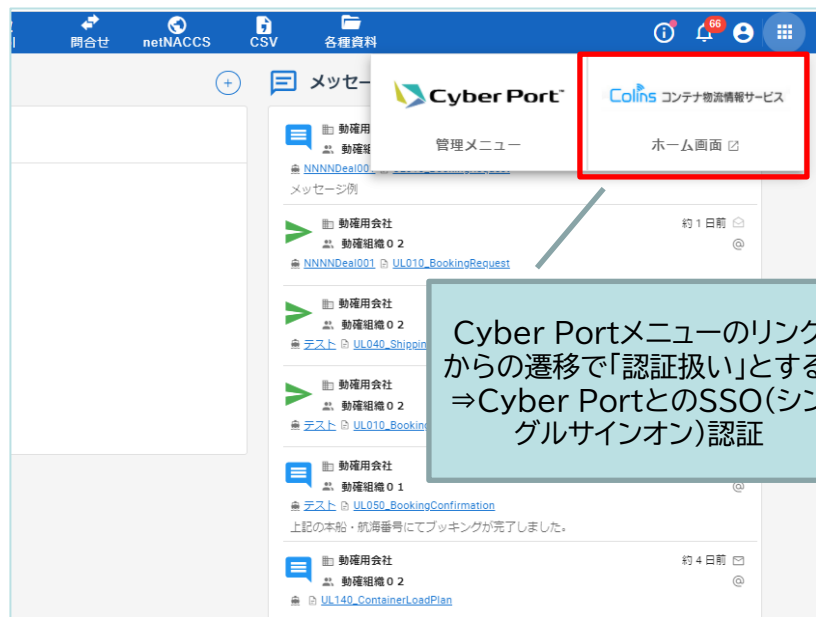
目的の貨物の必要な情報がいつでも入手可能となり、コンテナターミナルへの問い合わせや確認が不要となることから、これまで負担のかかっていた問い合わせ業務などが大幅に減少し、業務効率の向上が見込まれる。

■環境に優しくムダの少ない輸送

提供される様々な情報で、ターミナルや貨物の現在の状況を直接確認できることから、陸運事業者は混雑を回避し、待機時間の削減等が可能となり、周辺の道路の渋滞の緩和や環境負荷の低減が期待できる。

Cyber Port利用者であればColinsのWebサイトが利用可能となります。
Cyber Portのヘッダメニューのリンクをクリックすることで、別途サインイン操作をする必要なくColinsが利用できます。

Cyber Port



Cyber Portメニューのリンク
からの遷移で「認証扱い」とする。
⇒Cyber PortとのSSO(シン
グルサインオン)認証

Colins



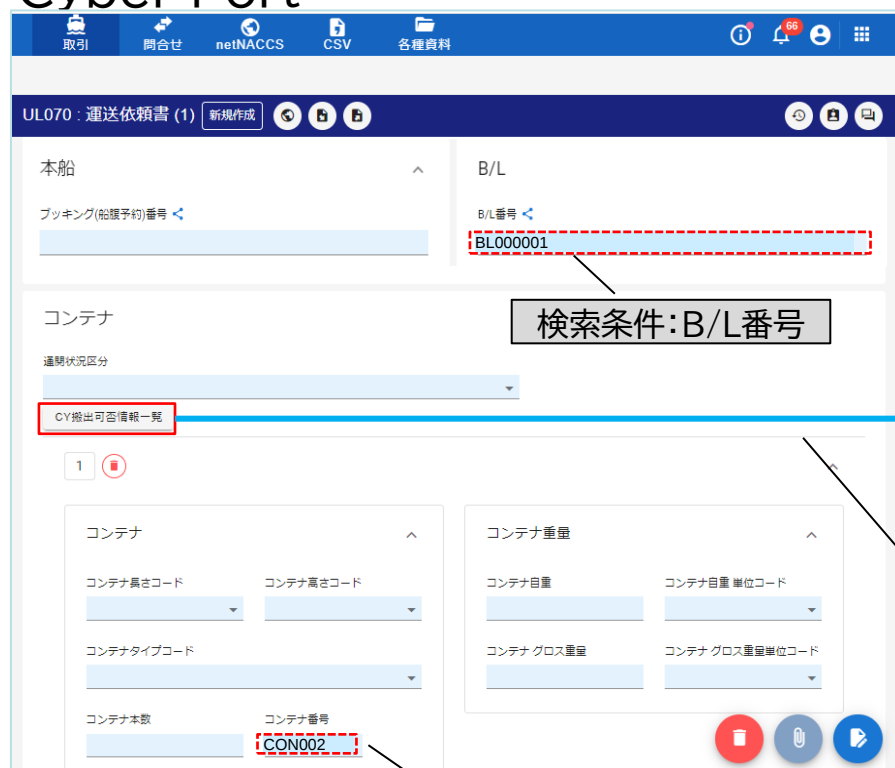
利用にあたっては、本来、会員登録
及びサインイン操作が必要。
Cyber Portのリンクから遷移
した場合はサインイン不要。

①-2. 帳票画面とColins「CY搬出可否情報」画面との連携

コンテナ情報項目を有する輸入帳票の画面にColinsの「CY搬出可否情報一覧」へリンクするボタンが追加されます。

帳票項目の「B/L番号」及び「コンテナ番号」の入力を条件に、ボタンクリックすることでCY搬出可否情報の検索結果が表示されます。

Cyber Port



UL070 : 運送依頼書 (1) [新規作成]

本船

ブッキング(船期予約)番号

B/L

B/L番号

BL000001

コンテナ

運送状況区分

CY搬出可否情報一覧

コンテナ

コンテナ長さコード

コンテナ高さコード

コンテナタイプコード

コンテナ本数

コンテナ番号

CON002

コンテナ重量

コンテナ自重

コンテナ自重単位コード

コンテナ gross重量

コンテナ gross重量単位コード

検索条件:B/L番号

検索条件:コンテナ番号

Colins「CY搬出可否情報一覧」

注)入力されたコンテナ番号・B/L番号が、Colins上に存在しないエラーが出ないにも関わらず、検索結果が表示されない場合は、CYが指定している検索条件に合っていない可能性があります。
注)表示データが前日以前の場合がありますので、ご注意ください。
前日以前のデータにつきましては、「取得日時」が赤字表示されます。
注)表示されているフリータイムについては、ターミナル側で把握している情報であり、フリータイムの確定値に関しては、各船会社に直接お問い合わせ下さい。

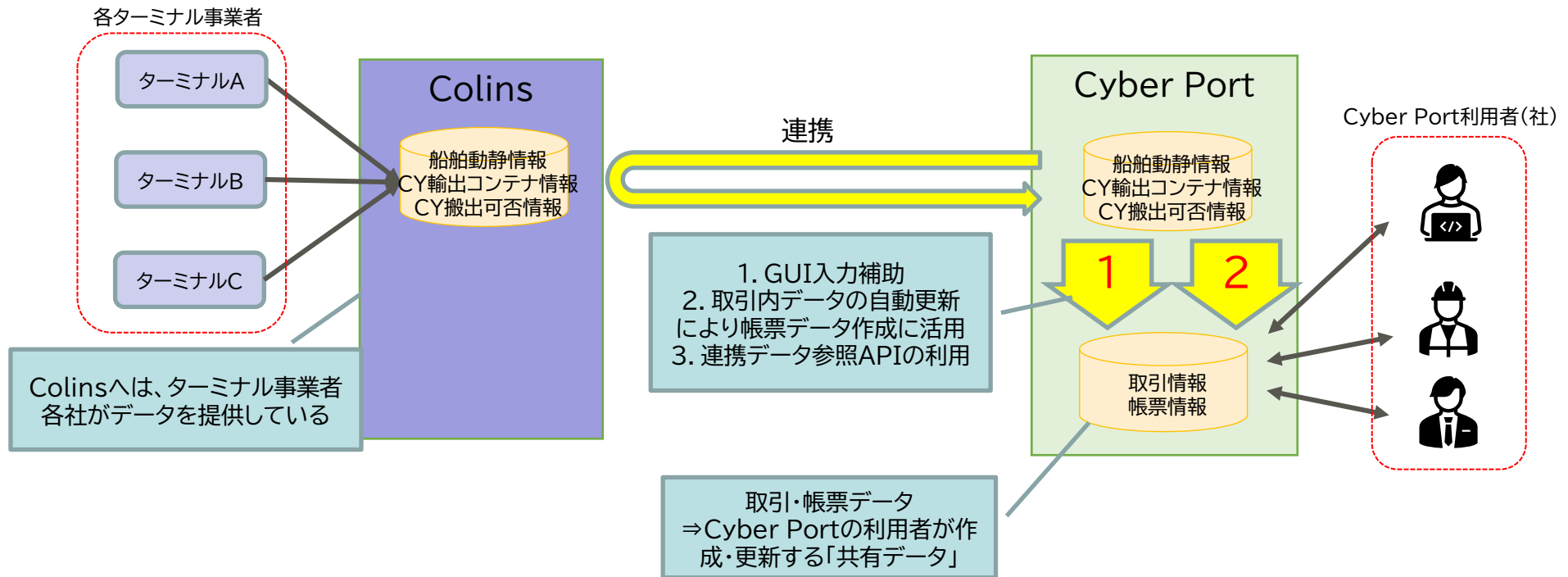
搬出可否 △▽	コンテナ番号 △▽	B/L No. △▽	船名 △▽	ターミナル △▽	税関許可 △▽	DO △▽	フリータイム △▽	検査料 △▽	CY搬入 △▽
○	CON002	BL000001	SAMPLE	Terminal 1234	○	入手済	2022/03/07	-	搬入済

ボタンクリックで「CY搬出可否情報一覧」画面を表示

② Colins連携データの活用について

Colinsが保持する「船舶動静情報」「CY輸出コンテナ情報」「CY搬出可否情報」がCyber Portに連携されるようになります。連携データは下記1、2の方法でCyber Portの帳票データ作成に活用できるようになります。

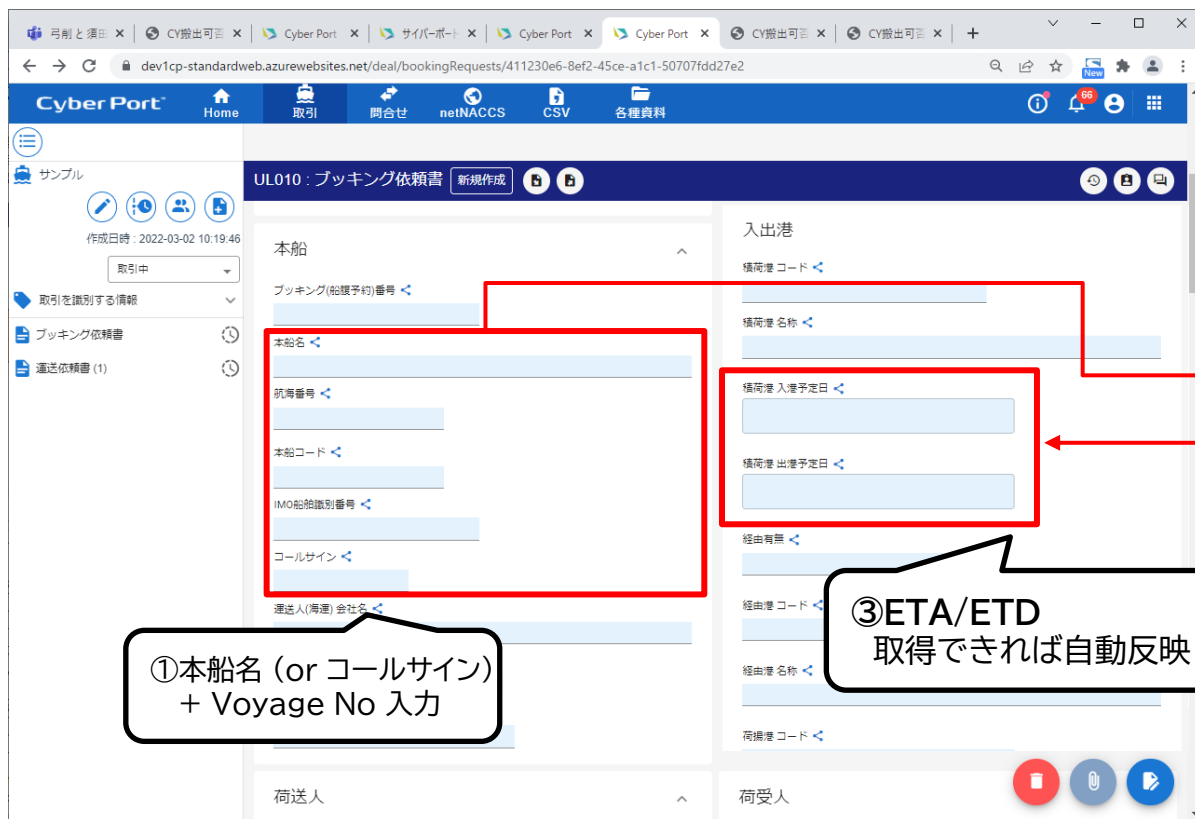
1. 帳票GUIでの入力補助
2. 取引内データの自動更新



②-1. 帳票GUIでの入力補助(1/2)

GUIでの帳票作成時、入力されたキー項目(コールサイン、本船名、航海番号など)に合致する連携データが存在する場合、自動的に連携データを参照し一部項目の値がセットされます。

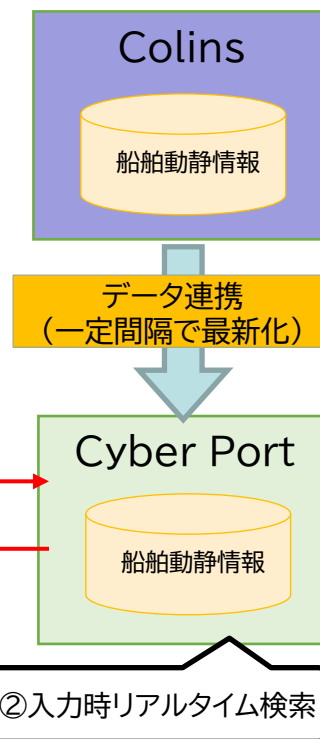
例) ブッキング依頼書の場合



The screenshot shows the 'UL010: ブッキング依頼書' (Booking Request Form) in the Cyber Port system. The form is titled '新規作成' (New Creation). It contains several input fields for booking details. Red boxes and arrows highlight specific fields and their data sources:

- ①本船名 (or コールサイン) + Voyage No 入力**: A red box highlights the '本船名' (Ship Name) and '航海番号' (Voyage No) fields. An arrow points from this box to the 'Colins' database in the diagram.
- ③ETA/ETD 取得できれば自動反映**: A red box highlights the '積荷入港予定日' (Cargo Arrival Date) and '積荷出港予定日' (Cargo Departure Date) fields. An arrow points from this box to the 'Cyber Port' database in the diagram.

The form also includes sections for '入出港' (Arrival/Departure), '荷送人' (Shipper), and '荷受人' (Consignee).



②-1. 帳票GUIでの入力補助(2/2)

GUIでの帳票入力時、「B/L番号」「Booking番号」から関連するコンテナ番号を選択する画面を表示し、コンテナ番号・属性の入力補助を行います。

例) 運送依頼書の場合



UL070 : DeliveryInstructions (1)

Vessel Information

Booking No. KYFA012

B/L Information

B/L No.

Container Information

Container selection

Custom Clearance Status

1

Container Length Code

Number of Containers

Seal No.1

コンテナ選択(Colins情報から検索)

ブッキング(船積予約)番号
BKG000001

コンテナ番号	長さ	高さ	タイプ	搬出場所コード	搬出日付	搬出時刻	搬入場所コード	搬入日付	搬入時刻
☒ CON00001	20ft	8ft	GP : General purpose/ドライ				CP9999	2021-09-23	10:08
☐ CON00002	20ft	8ft	GP : General purpose/ドライ				CP9999	2021-09-23	21:43
☒ CON00003	40ft	9ft	GP : General purpose/ドライ				CP9999	2021-09-23	22:40

キャンセル

選択

①Booking番号 入力

②ボタンクリック

③コンテナ単位の連携データを検索

④コンテナを選択しボタンクリック

⑤コンテナ番号、属性情報が貼り付けされる

Colins

CY輸出コンテナ情報

データ連携
(一定間隔で最新化)

Cyber Port

CY輸出コンテナ情報

②-2. 取引内データの自動更新

Colinsからデータが連携された際、Cyber Portの各取引データに対して最新の情報を自動で反映することができるようになります。

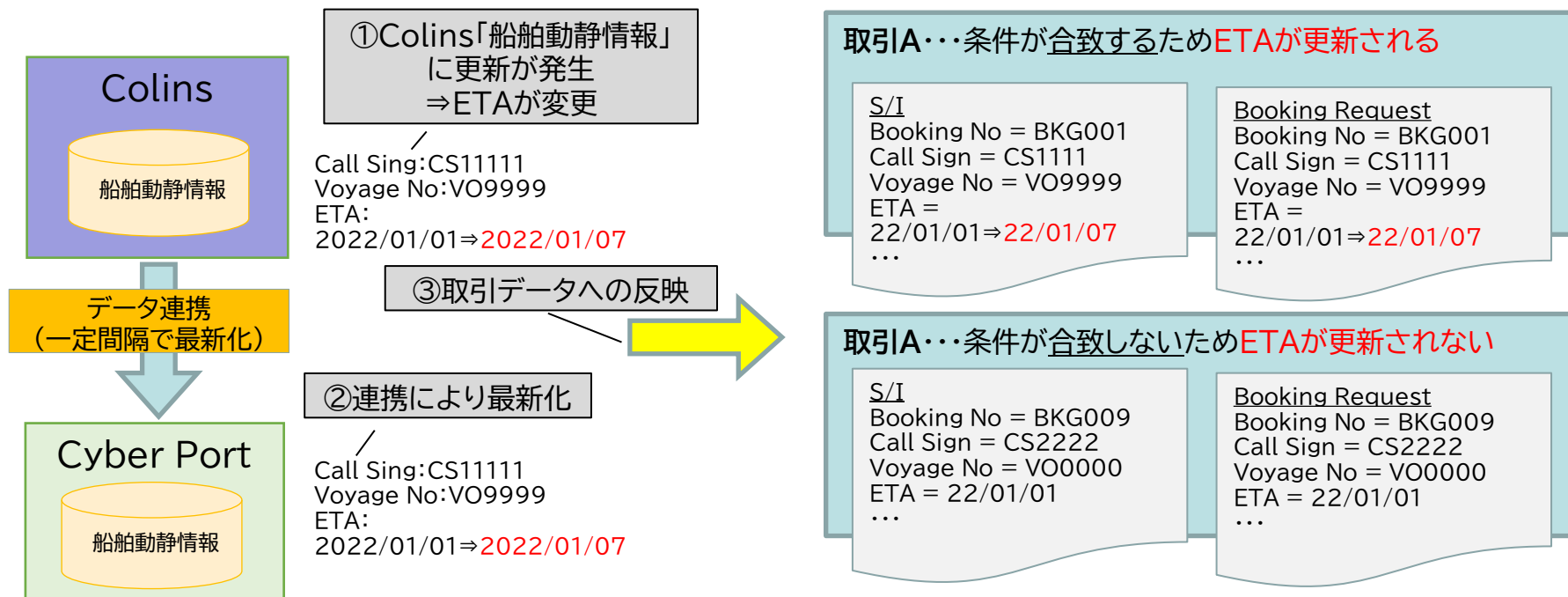
対象は取引内の各帳票間で共有されている「ルートドキュメント項目」となります。

Booking番号やB/L番号、コールサイン、本船名、航海番号などを条件にColinsでのデータ作成及び更新と連動してCY Cut/OpenやETA、ETDなどを更新します。

※自動更新処理の有効／無効は取引ごとに設定可能です。(デフォルトは無効)

取引に参加している組織であれば変更可能です。

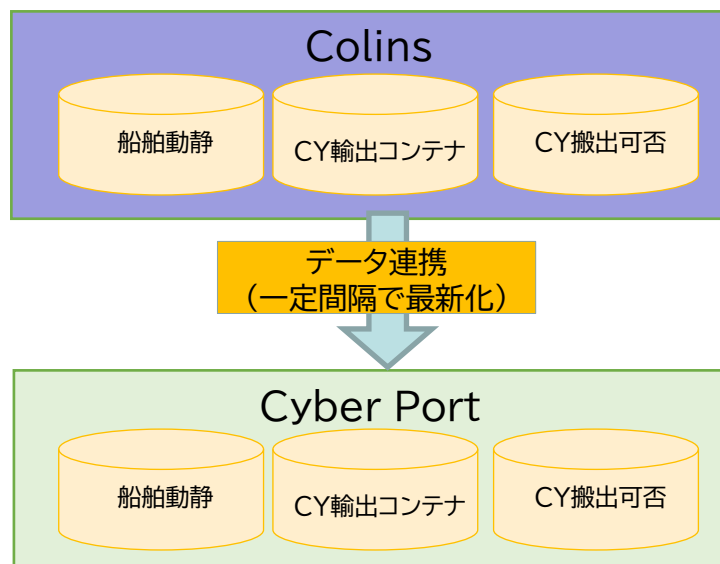
例) Colins「船舶動静情報」の更新に伴うCyber Port取引データの自動更新



②-3. 連携データ取得APIの提供

ColinsからCyber Portへ連携された「船舶動静情報」「CY輸出コンテナ情報」「CY搬出可否情報」のデータを取得するAPIを作成し、Cyber Port利用者に公開します。

イメージ



Cyber Port利用者(社)



実行可能

船舶動静
取得API

CY輸出コンテナ
取得API

CY搬出可否
取得API

・取得キー(下記①②いずれかを指定)
①コールサイン and 航海番号 and 船社コード
②本船名 and 航海番号 and 船社コード

・レスポンス
着岸予定/実績日時
荷役開始予定/実績日時
離岸予定/実績日時
CY Open/Cut
一括搬入日 ... など

・取得キー
ブッキング番号 and コンテナ番号

・レスポンス
コンテナサイズ・タイプ・高さ
バンパール空ピックアップ日時/場所
実入りコンテナ搬入場所
ゲートイン/コンテナ積みおろし日時
船積可否、税関許可
船積日時 ... など

・取得キー
B/L番号 and コンテナ番号

・レスポンス
コンテナサイズ・タイプ・高さ
搬出可否/CY搬入日時
検査対象/検査料/検査状況
税関許可/DO(入手状況)
フリータイム
OLT運送許可期間(開始/終了日)
ゲートイン/アウト日時
バンパール空返却予定日時/場所 ... など

Cyber Portの利用者であれば、APIを活用することで、ColinsからCyber Portへ連携される各種データを自社システムに直接取り込むことができます。